

施策評価シート

施策等名称	安全で人にやさしいまち -安全な生活環境の確保-	体系番号	0301010102
		主管課	環境課

1 施策基本情報

現状と課題	公害の発生源となる可能性がある特定施設及び特定建設作業については、届出義務が法律や条例に定められている。生活の多様化により典型7公害(大気・水質・騒音・振動・悪臭・地盤沈下・土壌汚染)をはじめとした様々な公害苦情が寄せられている。野焼きの煙による悪臭、隣地の空家や空地の木からの害虫(アメシロ、ハチ)などの苦情は近年特に多い。昭和45年から水質検査を実施しており、事業活動等により諏訪湖、河川等が汚染されないよう、行政が率先して水質検査を実施し監視していく必要がある。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	培ってきた知恵と最先端の技術により、人の生活や活動が環境へ及ぼす影響を低減し、安全で安心して暮らすことができるまちを目指す。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	生活苦情処理件数	年間に処理をした苦情件数(件)	176.00	改善
				改善
				100.00
②	市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準達成度(%)	100.00	100.00
				100.00
③	合併処理浄化槽法定検査受検率	合併処理浄化槽の法定検査受検率(%)	22.30	45.00
				70.00

施策の柱1	名称	健康で安全な生活環境の確保		主管課	環境課		
	詳細	公害防止対策の強化や新たな環境問題への対応を進める。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	生活苦情処理件数	年間に処理をした苦情件数(件)	176.00	改善	1 公害防止事業	実施
					改善	2 水質検査事業	実施
	2	市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準達成度(%)	100.00	100.00	3 合併処理浄化槽設置整備事業	実施
					100.00	4 犬・猫等飼育動物関係事務	実施
	3	合併処理浄化槽法定検査受検率	合併処理浄化槽の法定検査受検率(%)	22.30	45.00	5	
					70.00	6	
	基本政策間連携						

施策の体系	名称			主管課			
	詳細						
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1	
						2	
	2					3	
						4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の柱3	名称			主管課			
	詳細						
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1	
						2	
	2					3	
						4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策等名称	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー	体系番号	0301010102
		主管課	環境課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	生活苦情処理件数	176	108	181	222	193	174
1		改善	改善	改善	改善	改善	改善
変動要因等	2018年度	公害苦情が多いと、市民満足度は下がる。					
	2019年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
	2020年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
	2021年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
	2022年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
施策	市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
2		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
変動要因等	2018年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2019年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2020年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2021年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2022年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
施策	合併処理浄化槽法定検査受検率	22.30	48.19	58.68	64.53	68.06	69.35
3		45.00	107.09	130.40	143.40	151.24	154.11
変動要因等	2018年度	合併処理浄化槽設置者に法定検査の重要性を理解していただけないことがある。					
	2019年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
	2020年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
	2021年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
	2022年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
柱1	生活苦情処理件数	176	108	181	222	193	174
1		改善	改善	改善	改善	改善	改善
変動要因等	2018年度	公害苦情が多いと、市民満足度は下がる。					
	2019年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
	2020年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
	2021年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
	2022年度	特別な理由はないが、公害苦情発生件数は年ごとに変動する要素が大きい。					
柱1	市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
2		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
変動要因等	2018年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2019年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2020年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2021年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
	2022年度	環境基準未達成の項目は、自然由来の成分によるものや、水温・水量により大きく変動し、土壌由来や野生動物による汚染もあると考えられる。					
柱1	合併処理浄化槽法定検査受検率	22.30	48.19	58.68	64.53	68.06	69.35
3		45.00	107.09	130.40	143.40	151.24	154.11
変動要因等	2018年度	合併処理浄化槽設置者に法定検査の重要性を理解していただけないことがある。					
	2019年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
	2020年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
	2021年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					
	2022年度	周知活動の成果もあり、法定検査受検率は上昇している。					

